

<b>Course number</b>		U-LAS15 10005 EJ58					
<b>Course title (and course title in English)</b>	地球科学実験 Experimental Practice of Earth Science			<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KOGISO TETSU Institute for Liberal Arts and Sciences Professor,ISHIMURA TOYOHO Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,KATOU MAMORU Graduate School of Human and Environmental Studies Assistant Professor,KUWANO DAISUKE Graduate School of Science Professor,MIYAKE AKIRA Graduate School of Science Associate Professor,SATOU KATSUSHI Disaster Prevention Research Institute Professor,ITOU YOSHIHIRO		
					Part-time Lecturer,KIUCHI MASATO		
<b>Group</b>	Natural Sciences			<b>Field(Classification)</b>	Earth Science(Foundations)		
<b>Language of instruction</b>	Japanese			<b>Old group</b>	Group B		<b>Number of credits</b> 2
<b>Number of weekly time blocks</b>	2	<b>Class style</b>	Experiment (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2025・First semester	
<b>Days and periods</b>	Tue.3・4		<b>Target year</b>	Mainly 1st year students		<b>Eligible students</b>	For science students
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>我々人間は、自分たちの住む地球のことをどこまで知っているだろうか？人間に比べて地球は空間スケールが桁違いに大きく、そこで起こっている現象の時間スケールも桁違いに長い。しかも、複雑でいろいろな側面を持っている。そんな地球を机の上の勉強だけで理解するのは不可能である。手足を動かし、実際の地球に触れて実感することが、地球を理解する第一歩である。本実験では、様々なテーマに関する実験を通じて、地球の実態や営みの様々な側面や、それらを探究する多様な手法・視点に触れることで、地球への興味・理解を深める。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<p>地球で起こる諸現象や、地球科学の諸分野および様々な研究手法に触れることで、地球への興味と理解を深めることができる。 地球を理解するための多角的な視点を持つことができる。</p>							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
<p>数人ずつの班に分かれて、地球および太陽系に関する複数のテーマに関して、2週間ずつの実験を、初回ガイダンスとフィードバックを合わせて全15回（天候不順等に備えた予備回1回を含む）行う。</p> <p>実験テーマは、太陽惑星系、大気圏、海洋圏、固体圏、テクトニクス、地質、古生物、表層環境などのカテゴリーから設定する。具体的には、惑星探査データ解析、電磁気観測、気象観測、地震波解析、野外での地質・岩石・鉱物の観察、環境解析、などの実験を行う予定。本年度のテーマの詳細は、初回のガイダンス時に説明する。</p>							
<b>[Course requirements]</b>							
<p>初回に行うガイダンスに必ず出席すること。ガイダンスでは、本実験の概略と個々の実習テーマについて説明し、<u>班分けのための登録を行う</u>。<u>ガイダンスに出席しない者の履修は認めない</u>。</p>							
Continue to 地球科学実験(2)							

## 地球科学実験(2)

-----  
高校地学の履修は前提としない。

### [Evaluation methods and policy]

授業への参加状況、実験内での課題への取組姿勢、課題などを総合的に評価する。詳細は初回授業で説明する。

### [Textbooks]

Instructed during class

### [References, etc.]

( References, etc. )

Introduced during class

( Related URL )

<http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/~geoexp/>(過去に行った実験テーマはこちらを参照してください)

### [Study outside of class (preparation and review)]

ガイダンス及び各実験課題において指示する。

実験課題によっては、事前の準備が必要なものがあるので、実験スケジュールは必ず事前に確認しておくこと。

### [Other information (office hours, etc.)]

「学生教育研究災害傷害保険」などの傷害保険への加入をしておくこと。

野外実習を伴う実験の場合、交通費等の経費の負担（個人負担）が生じる場合がある。詳しくは、初回のガイダンス時に説明する。

後期開講の「地球科学実験」とは同一科目です。